

# 今後のアスパラガス冬季管理について

R2.12

アグリ技研㈱

## 1. 地上部管理と刈取り時期について

本年は、10～11月の日照量は平年の20%増です、光合成期間も長く最高な状態で推移をしていると思えます、今後はここで蓄えた養分を貯蔵根に転流させるためにも、転流資材散布(PKゴー)や、刈取まで十分な灌水と追肥(ウルル10号)を行って春芽に繋げましょう。

◎1年生株(収穫1年目)は、休眠も浅いので茎葉の黄化80%前後で刈取。

◎多年生株は、十分に黄化状態で刈取(極端に早く刈取ると収量、品質低下)

## 2. 作業の流れについて

作業	ポイント
地上部刈取り	地下茎に余り刺激の無いように作業する
枯葉の撤去	茎葉を圃場外へ持ち出す
バーナー焼き(1回)	ハウス内全面をムラなく焼き、菌密度を低下させる
表土落搔き	多年株は鱗芽が見えない程度に軽く行う
バーナー焼き(2回)	斑点性など多かった箇所は特に徹底的に処理
冬肥	畝上に施肥、その上に堆肥散布
除草剤散布	センコル水和剤1.5袋/1000(10a)を散布
内カーテン準備	地温18℃安定で萌芽開始
灌水	晴天時の午前中にたっぷりと行う
蒸込、保温開始	一斉にハウス内の温度を上げる。

## 3. 基準冬肥・春芽追肥について 「10a 当たり」

肥料名	施肥量	備考
鮮彩美人 643	6袋	有機100%質肥料 成分6-4-3
豊作源	8～10袋	連作障害軽減資材
珪リン酸	2～3袋	ミネラル有機肥料
腐植酸	3～5袋	腐植向上資材
モンネン	3～5袋	CECの向上資材
カルタマQ	5～10袋	PH調整有機石灰
完熟堆肥	5t	地力向上

◎春芽収穫期の追肥には

「鮮彩美人066」又は「センサイオール1」を7～10日(収穫量に応じて)に1.5袋追肥